I·O DATA

M-MANU200001-01

PFL-PLAY3D-I

取扱説明書

このたびは、液晶ディスプレイ用 着せ替え 3D フィルター PFL-PLAY3D-I(以下、本製品と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

ご注意

健康へのご注意

●長時間画面を見続けると健康を害する恐れがあります。
●鑑賞時に、目の疲労・頭痛・吐き気等、身体に異常を感じた場合は直ちに使用を停止してください。連続した時間の鑑賞は行わないで、時間を空けてから再度ご鑑賞ください。また、特に異常を感じない場合でも、連続しての鑑賞は避けて、適度に目を休めるように心がけてください。本製品は、偏光メガネを使用して一定時間以上連続して鑑賞を行うと、通常の画面に自動的に復帰する仕様となっております。
●痙攣発作や光感受性発作などを過去に患ったことがある方は、本製品を使用しないでください。また鎮痛剤、睡眠剤などを常用されている方で、何らかの異常を感じた場合は、直ちに使用を停止してください。
●目の成長過程を守るため、小中学生や幼児には使用させないでください。

取り扱い時のご注意

● 3D フィルターはガラス製です。飛散防止加工を施しておりますが、割れやすい素材のため、取り外しや保管時など、取り扱いの際には特にご注意ください。
● 3D フィルターのウラ面(液晶ディスプレイ取り付け面)には 3D コーティングフィルムが施されていますので、直接手で触れないように、また汚さないようにご注意ください。
● 3D フィルターは磁石で固定されます。磁石部分に磁気記録媒体(キャッシュカード・クレジットカード・プリペイドカード・フロッピーディスク等)を近づけないでください。記録データが消える場合があります。
● 3D フィルターは、ねじれやゆがみを生じさせるように持つと、フィルター枠部分とガラス部分が外れる恐れがあります。
●偏光メガネの表面は傷つきやすいので、鋭利なもので引っかいたりしないでください。また、表面を強く押したり、力を加えないでください。
●偏光メガネを使用した鑑賞に際して、素材の色調により二重残像などが発生し、立体感が得られない場合があります。
●赤青メガネを使用した鑑賞に際して、素材の色調により立体感が得られない場合があります。
●左右一組の画像ファイル管理目的のために、「自動ファイル名変更」と「保存フォルダ指定」機能があります。ルールをご理解のうえ、ご利用ください。ファイル名が自動変更された場合、元のファイル名に復帰できません。
●画像の編集に際しては、添付ソフトのヘルプに記載されている編集テクニックをご理解のうえ、適切に編集した画像で鑑賞を行ってください。編集結果が適切でないと鑑賞時に立体に見えにくくなったり、目の疲労・頭痛・吐き気等を引き起こす場合がありますのでご注意ください。
●立体視編集した画像は個人で楽しむほか、著作権上権利者に無断で使用することはできません。

お手入れ時のご注意

● 3D フィルターのオモテ面をお手入れする際は…
・汚れを拭き取る際には、脱脂綿か柔らかいきれいな布で、軽く乾拭きをしてください。
・3D フィルターを平面に置き、力を入れないで、柔らかい布で拭いてください。液晶ディスプレイに装着したままで拭くと、お手入れしやすく、取り扱いが安全です。
● 3D フィルターのウラ面(液晶ディスプレイ取り付け面)についた指紋や汚れなどを拭いて取り除こうとすると、3D コーティングフィルムが剥離してしまう場合があります。汚れを拭き取る際には、脱脂綿か柔らかいきれいな布で、軽く乾拭きをしてください。
●偏光メガネのお手入れをする際は…
・汚れを拭き取る際には、脱脂綿か柔らかいきれいな布で、軽く乾拭きをしてください。
・偏光メガネの表面は傷つきやすいので、お手入れの際はご注意ください。

保管時のご注意

● 3D フィルターは長期間壁などに立て掛けておくと、ソリが発生する恐れがあります。保管時はできるだけ平らな所に置いてください。

はじめに

特徴

●本製品は、弊社製液晶ディスプレイ※用の着せ替え 3D フィルターです。本製品を液晶ディスプレイに取り付け、添付の観賞用の各種メガネで見れば、添付の立体視編集ソフトで加工した立体視 3D 画像を立体視することができます。
●立体視 3D 画像のサンプルファイルや、立体視 3D 画像を作成・鑑賞するためのソフトウェアを添付していますので、すぐに立体の世界を体験できます。
●本製品によって得られる立体感は個人差により異なる場合があります。
※対応する液晶ディスプレイについては、裏面の【ふろく】にてご確認ください。対応する液晶ディスプレイ以外では本製品をご使用いただけません。

箱の中には

箱の中のものを確認します。

☐ にチェックをつけながら、ご確認ください。

万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

☐ 3D フィルター(1 個)

☐ クリップタイプ 偏光メガネ(1 個)

☐ 赤青メガネ(2 個)

☐ 偏光メガネ(1 個)

☐ PLAY3DPC サポートソフト(CD-ROM 1 枚)

☐ 紙タイプ 偏光メガネ(1 個)

☑ PFL-PLAY3D-I 取扱説明書(本書 /1 枚)

☐ VER シール(1 枚)

●赤青メガネは、右図のように持ち手を左手に持ってください。フィルター部の左右が逆になっていると、立体視することができない場合がありますので、ご注意ください。
●添付の各種メガネは、3D 鑑賞以外の用途には使用しないでください。

●箱・梱包材は
大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。
●イラストについて
実物と若干異なる場合があります。
●ユーザー登録について
ソフトウェアのユーザー登録をする際に、ソフトウェアのシリアル番号が必要です。シリアル番号は本製品に添付されている VER シールに、12 桁で印字されています。(例:ABC1234567ZX)
・ソフトウェアのユーザー登録 ⇒ http://www.iodata.jp/regist/

添付ソフトについて

本製品には以下のソフトが添付されています。(サポートソフトに収録。)

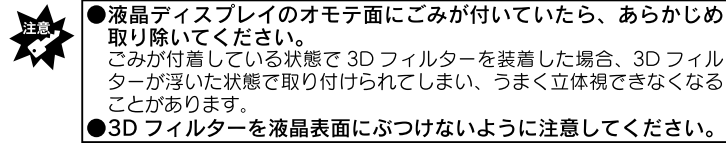
●静止画版 3D 編集ソフト 「DigiCame3D Editor」
●静止画版 3D 鑑賞ソフト 「DigiCame3D Viewer」
●動画版 3D 編集ソフト 「DigitalVideo3D Editor」
●動画版 3D 鑑賞ソフト 「DigitalVideo3D Viewer」
●動画版 3D 鑑賞ソフト 「DigitalVideo3D Player」

添付ソフトの動作環境

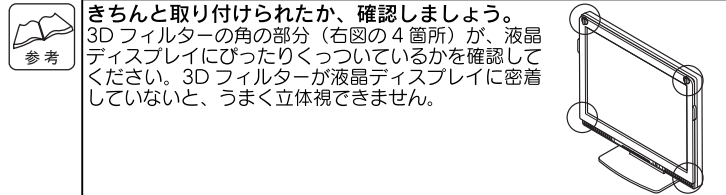
対応機種	次の条件を満たす DOS/V マシン。 ●CPU Pentium Ⅱ 500MHz 以上 , Celeron 700MHz 以上 ●グラフィックカード VRAM 2M バイト以上(16MB) ●メモリー 128MB 以上 ●ハードディスク 空き容量 1GB 以上 ●CD-ROM ドライブ インストール時に必要 ●DirectX 8.0 以降 ※()内は推奨値です。 ※弊社では、OADG 加盟メーカーの DOS/V マシンで動作確認をしています。 ※タブレットをご利用になる場合は、ワコム社製 Windows XP/2000 対応タブレットをご利用ください。
対応 OS	● Windows XP ● Windows 2000

使ってみよう

3D フィルターを液晶ディスプレイに取り付けよう

●液晶ディスプレイのオモテ面にごみが付いていたら、あらかじめ取り除いてください。
ごみが付着している状態で 3D フィルターを装着した場合、3D フィルターが浮いた状態で取り付けられてしまい、うまく立体視できなくなることがあります。
●3D フィルターを液晶表面にぶつけないように注意してください。

1. フロントカラーフレームを取り外します。
フロントカラーフレーム両脇(上部)のへこみを手前にひいて取り外します。

2. 3D フィルター両脇(上部)の取っ手を持ち、2 つの調整トグルを上にした状態で、3D フィルターを液晶ディスプレイに装着します。
このとき、3D フィルターが液晶ディスプレイに密着するようにして取り付けてください。

きちんと取り付けられたか、確認しましょう。
3D フィルターの角の部分(右図の 4 箇所)が、液晶ディスプレイにぴったりくっついているかを確認してください。3D フィルターが液晶ディスプレイに密着していないと、うまく立体視できません。

添付ソフトをインストールしよう

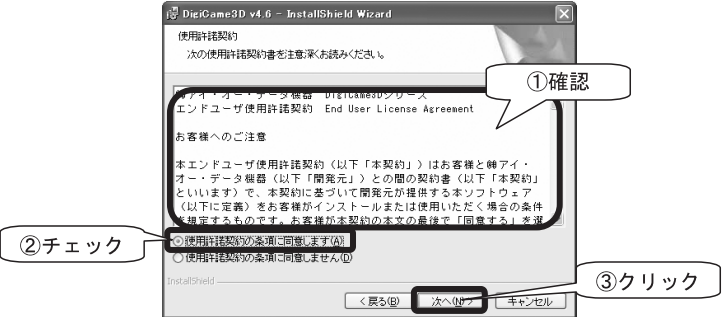
静止画版 3D ソフト「DigiCame3D Editor」「DigiCame3D Viewer」をインストールしよう

1. Windows を起動し、サポートソフトを CD-ROM ドライブにセットします。
自動的にオートランメニューが起動します。

自動的にオートランメニューが起動しない場合は
サポートソフトの中にある[autorun.exe]ファイルをダブルクリックしてください。

2.[DigiCame3D]ボタンをクリックします。

3.[次へ]ボタンをクリックします。

4. 画面内容を確認し、[使用許諾契約の条項に同意します]にチェックをつけ、[次へ]ボタンをクリックします。

5.[次へ]ボタンをクリックしていきます。

6.[インストール]ボタン→[完了]ボタン→[はい]ボタンの順にクリックします。

⇒ Windows が再起動します。

動画版 3D ソフト「DigitalVideo3D Editor」「DigitalVideo3D Viewer」「DigitalVideo3D Player」をインストールしよう

1. Windows を起動し、サポートソフトを CD-ROM ドライブにセットします。
自動的にオートランメニューが起動します。

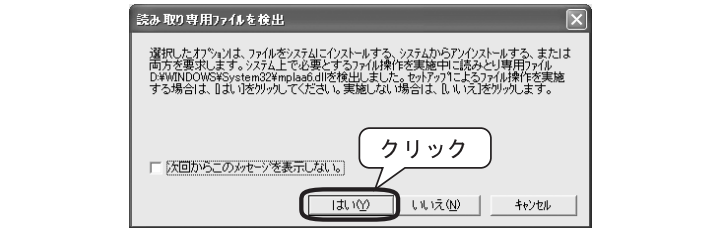
自動的にオートランメニューが起動しない場合は
サポートソフトの中にある[autorun.exe]ファイルをダブルクリックしてください。

2.[DigitalVideo3D]ボタンをクリックします。

3.[次へ]ボタンをクリックします。

4. 画面内容を確認し、[はい]ボタンをクリックします。

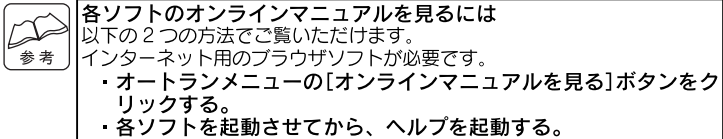
5.[次へ]ボタンをクリックしていきます。
関連する古いソフトウェアモジュール等がハードディスク内に存在していた場合、下記のようなメッセージが出るときがありますが、[はい]ボタンをクリックして進んでください。

6.[完了]ボタンをクリックします。

WMA フォーマットの音声ファイルの編集には、サポートソフトに収録されている「Windows Media Encoder」のインストールが必要です。

「Windows Media Encoder」のインストール方法
①オートランメニューから、「Windows Media Encoder」ボタンをクリックします。
②使用許諾契約書をお読みいただき、[次へ]ボタンをクリックします。あとは画面にしたがって、インストールを行ってください。

添付ソフトの使用方法について

添付ソフトの使用方法については、それぞれのオンラインマニュアルをご覧ください。

各ソフトのオンラインマニュアルを見るには
以下の 2 つの方法でご覧いただけます。
インターネット用のブラウザソフトが必要です。
・オートランメニューの[オンラインマニュアルを見る]ボタンをクリックする。
・各ソフトを起動させてから、ヘルプを起動する。

3D 画像を見るための初期設定や調整を行おう

添付ソフト「DigiCame3D Viewer」にて、3D フィルター装着後の初期設定を行います。そのあと、3D 画像を見るための調整を行います。

1. ［スタート］ボタン→（［すべてのプログラム］→）［I-O DATA DigiCame3D xxx］→［DigiCame3D Viewer］の順にクリックします。
   ⇒［DigiCame3D Viewer］が起動します。

2. ［ファイル］→［環境設定］→［3D 鑑賞］タブ→［3D メガネの初期設定］ボタンの順にクリックします。
   ⇒［3D メガネ初期設定］画面が表示されます。

3. 添付の偏光メガネを装着します。

4. ［3D メガネ初期設定］画面左上の「3D」ロゴの輪郭のズレが最小になるように、3D フィルターの 2 つの調整トグルを少しずつ手で回して調整します。

＜調整前＞　　＜調整後＞

※調整時のイメージ図です。

5. 左目を閉じて右目だけで見たときに、画面全体が赤色になるように、［Even］ボタンまたは［odd］ボタンをクリックして選択します。
   ※初期設定では、［odd］ボタンが選択されています。

   調整終了後に、添付の偏光メガネを装着して両目で見ると、真ん中の PLAY3DPC ロゴが立体（右側の方が飛びでている）で見えるようになります。

- **3D 画像を見るための調整、および 3D 画像の鑑賞を行う際は、液晶ディスプレイ正面に対して顔が水平になるようにまっすぐにして、50 ㎝くらい離れて見てください。**
- **液晶ディスプレイに取り付け、調整トグルで調整した 3D フィルターの位置が少しでもずれると、3D 表示できなくなります。このような場合は、調整トグルを再調整する必要があります。**

上記の手順を行えば、「DigiCame3D Viewer」以外のソフトでの初期設定は不要です。

添付ソフト「DigiCame3D Viewer」を使って、3D 画像を見てみよう

あらかじめ編集済みのサンプル 3D データ（サポートソフトに収録）を、添付ソフト「DigiCame3D Viewer」を使って見てみてみましょう。

1. ［スタート］ボタン→（［すべてのプログラム］→）［I-O DATA DigiCame3D xxx］→［DigiCame3D Viewer］の順にクリックします。
   ⇒［DigiCame3D Viewer］が起動します。

2. 「DigiCame3D Viewer」の左上の「ファイル形式」の設定が「静止画用立体視 3D 統合ファイル［＊ .ios]」になっていることを確認します。

3. サポートソフト内の［3D_SAMPLE］フォルダの中にある IOS ファイルのサムネイルのいずれかをダブルクリックします。
   ⇒スライドショーのダイアログが表示されます。

4. ［偏光 / 液晶メガネ _i］をクリックして選択し、［実行］ボタンをクリックします。
   ⇒選択した IOS ファイルが表示されます。

5. IOS ファイルが全画面に表示されるように、左下の虫メガネボタンをクリックして、拡大 / 縮小します。

6. 添付のメガネを装着して、3D 画像を見ます。
   ⇒ 3D 画像を立体で見ることができます。

- **ソフトの詳細な使用方法については、オンラインマニュアルをご覧ください。**
- **オンラインマニュアルを見るには**
  以下の 2 つの方法でご覧いただけます。インターネット用のブラウザソフトが必要です。
  - オートランメニューの［オンラインマニュアル］ボタンをクリックする。
  - 各ソフトを起動させてから、ヘルプを起動する。

安全にお使いいただくために

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■警告および注意事項

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例）「発火注意」を表す絵表示

この記号は禁止の行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例）「分解禁止」を表す絵表示

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例）「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警 告

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

本製品を分解したり、改造しないでください。
本製品の故障の原因となります。

発火注意

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

本製品の取り付け、取り外しの際は、必ず本書で取り付け、取り外し方法をご確認ください。
間違った操作を行うと動作不良の原因となります。

本体を濡らさないでください。
お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、故障の原因となります。

濡れた手で本製品を扱わないでください。
本製品の故障の原因となります。

注意

本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。
故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。

本製品を保管する場合はご購入時の箱に入れてください。
また、本製品は以下のような場所（環境）で保管・使用しないでください。
故障の原因となることがあります。
- 振動や衝撃の加わる場所
- 直射日光のあたる場所
- 湿気やホコリが多い場所
- 温湿度差の激しい場所
- 熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒーターなど）
- 強い磁力電波の発生する物の近く（磁石、ディスプレイ、スピーカー、ラジオ、無線機など）
- 水気の多い場所（台所、浴室など）
- 傾いた場所
- 腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
- 静電気の影響の強い場所
- 保温性・保湿性の高い（じゅうたん・カーペット・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど）場所での使用（保管は構いません）

禁止

本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。
- 落としたり、衝撃を加えない
- 本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- 重いものを上にのせない
- 本製品のそばで飲食・喫煙などをしない
- 本製品に液体、金属、たばこの煙などの異物が付着しないようにする

本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。
- ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。
- 市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因となります。

本製品を結露させたまま使わないでください。
時間をおいて、結露がなくなってからお使いください。本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、表面・内部が結露する場合があります。そのまま使うと誤動作や故障の原因となる場合があります。

本製品の上にものを置かないでください。
本製品が破損する恐れがあります。

使用中は振動を与えないでください。
本製品が損傷し、火災・感電の原因となることがあります。

⚠ 注 意

眼精疲労について
ディスプレイを見る作業を続けるときは、作業場を 300 ～ 1000 ルクスの明るさにしてください。また、連続作業をするときは、30 分につき 10 分から 15 分程度の休憩をとってください。長時間ディスプレイを見続けると、眼に疲労が蓄積されます。

液晶パネルの表示面から、漏れた液体（液晶）には触れないでください。
誤って液晶パネルの表示面を破壊し、中の液体（液晶）が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけないようにしてください。万が一、液晶が目や口に入った場合は、すぐに水で5分以上洗い、医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣服に液晶が付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。そのまま放置すると、皮膚や衣服を傷めるおそれがあります。

ふろく

仕様

● 3D フィルター

外形寸法	348（W）× 11.3（D）× 268（H）mm
質　量	272g
素　材	フィルター部分：ガラス
コーティング	AR コート（オモテ面）
対応ディスプレイ	LCD-AD152C シリーズ

※最新の対応機種については、弊社ホームページをご覧ください。
⇒ http://www.iodata.jp/
※外観および仕様は、改善のため予告なく変更することがあります。

お問い合わせ

本製品に関するお問い合わせは、弊社サポートセンターにて受け付けています。

1 まず、弊社ホームページをご確認ください。
サポート Web ページ内の「製品 Q&A、News」などもご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考になさってください。

http://www.iodata.jp/support/

2 それでも解決できない場合は下記へお問い合わせください。

住所：　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　サポートセンター
電話：　本社…**076-260-3646**　東京…**03-3254-1036**
※受付時間　9:30～19:00　月～金曜日（祝祭日を除く）
FAX：　本社…**076-260-3360**　東京…**03-3254-9055**
インターネット：　http://www.iodata.jp/support/

お知らせいただく事項について
1. ご使用の弊社製品名。
2. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
3. ご使用のサポートソフトのバージョン。
4. ご使用の OS とアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態
（画面の状態やエラーメッセージなどの内容)

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
3) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
4) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
5) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
6) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
7) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各 1 部だけ複写できるものとします。
8) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に 1 台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
9) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
10) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
12) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
13) テレビやビデオの映像は著作権法により保護されています。これらの映像は個人で楽しむ以外に利用しないでください。
14) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

- I-O DATA は、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windows,MS,DirectX は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

呼び方	意　味
本製品	PFL-PLAY3D-I
サポートソフト	添付の PLAY3DPC サポートソフト
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System, Microsoft® Windows® XP Professional Operating System
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System

デジタルライフの夢を拡げる
株式会社アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター：〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ：http://www.iodata.jp/support/

2004. Aug. 20